



一 般 質 問

# 市政のここが聞きたい

13名の議員が登壇

一 般 質 問

今定例会では、13名の議員が一般質問を行いました。  
掲載している各議員の記事は、質問した議員自らが作成しています。

発言議員		質 問 事 項
1	難波 英夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と自治体に直接関係する国政の重要課題への市長の見解と対応について</li> <li>・農作物への有害鳥獣被害防止対策の拡充、強化をはかること</li> </ul>
2	川上 博司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光の振興について</li> <li>・ムダ根絶への取り組みについて</li> <li>・学校教育の充実について</li> </ul>
3	内田 大治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギンナン生産に係る市の取り組みについて</li> </ul>
4	宮田 好夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革について</li> <li>・庁舎機能の充実について</li> <li>・高倉小学校跡地利用について</li> </ul>
5	田中 広二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備中高梁駅周辺開発構想について</li> <li>・市長の行政施策発信について</li> <li>・市営住宅の実態について</li> </ul>
6	小林 重樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成羽病院改築について</li> <li>・教育問題について</li> <li>・新市庁舎について</li> </ul>
7	宮田 公人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉備国際大学との連携のあり方について</li> <li>・市立成羽病院について</li> <li>・予算編成と情報公開について</li> </ul>
8	大森 一生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市における市街地活性化対策と景観行政及び観光振興について</li> <li>・本市における安心・安全なまちづくりについて</li> </ul>
9	丸山 茂紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政権の交代により市政の運営と行政施策はどのようになるのか</li> </ul>
10	倉野 嗣雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興について</li> <li>・空き家対策について</li> </ul>
11	大月 健一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化防止対策について</li> <li>・学校教育について</li> <li>・岡山県立城南高校川上校地について</li> </ul>
12	三上 孝子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済の発展の大きな柱である「市内の商工業者の経営を守る」ための実効ある施策の実施を求める</li> <li>・民主党の地方自治体などからの陳情を一元化する方針について</li> <li>・市民のくらし、安心・安全を守るために</li> </ul>
13	森田 伸一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興について</li> </ul>

## 年齢で差別する冷たい政治の象徴 「後期高齢医療制度」の廃止を求める

難波 英夫 議員

●難波 年齢で差別する冷たい政治の象徴である「後期高齢医療制度」は、直ちに廃止し、以前の「老人保健制度」に戻すことと同時に保険料などの負担が増えないように、国が財政措置をするよう強く求めること。

◆市長 政府も廃止を決めて新制度に移行すると言っている。早急な移行を要望するとともに、被保険者や市に負担がかからないよう県や広域連合を通じて要望する。

●難波 70歳から74歳の高齢者医療費の窓口負担が2010年4月から、現在の1割から2割と倍になる。年金暮らしの高齢者にとって、厳しく大きな負担であり、国に中止を求

めること。

◆市長 政府は、「後期高齢者医療制度」との関係で4月からの2割への引き上げは、凍結すると言っている。その後についても高齢者への負担増にならないよう求める。

●難波 民主党の進める日米FTA自由貿易協定は、関税撤廃の協定であり、日本農業は崩壊しかねない。総理の言う「戸別所得補償制度」とFTA交渉の中止を求めること。

◆市長 政府のFTA交渉の中止を関係機関と連携しながら求めていきたい。「戸別保障制度」がFTAと同時に行われたとしても、高梁市の農業は逆に荒廃が進むと思う。

●難波 例えば、国保



事業では、子どもの医療費無料化を行うと国の負担金を減らすとか、国保税の滞納者から「保険証」の取り上げをしないと国が出す特別調整交付金を削除することなどがある。

また農業関係では、「減反に協力しない農家へは各種の補助金制度の対象にしない」ということがある。

市が福祉向上のため行う単独施策への国の不当な介入やペナルティーを行う仕組みを無くすよう強く国に申し入れること。

◆市長 不合理なことがあれば、市民の福祉を守るために積極的に申し入れをする。

## 映画資料館の設置と高梁映画祭の実現を！ マイカー観光者への駐車場対策は？

川上 博司 議員

観光振興の推進について

映画のまち高梁への取り組みについて

●川上 高梁は過去38年にわたり劇場公開作品では8つの映画ロケが行われている全国屈指の映画のまちである。既存施設を活用した映画資料館の設置と高梁



映画祭の開催について今後どのように対応していくのか。

◆産業経済部長 映画資料館の設置については、既存施設で展開できないか今後も粘り強く交渉していく。

映画祭の開催については、従来の行政主導ではなく民間主導で開催できないか関係団体と協議していく。

●川上 市街地のメインの駐車場である紺屋川筋の観光駐車場は、大型バスが何台も入ると手狭になる。せっかく観光客の7割以上がマイカーで来ても駐車場が十分ないと、あきらめて帰ってしまうのではないかと。もっと観光駐車場を増やすべ

きではないか。

◆産業経済部長 近辺で駐車場スペースをお持ちの方の協力を頂きながら協議したい。中学校の部活動支援について

●川上 市内の中学校では生徒数の減少や指導現場の人手不足で部活動の維持が厳しくなってきたおり、何とか体育部は設置できても文化部が設置できない中学校があったり、専門分野ではない教師が運動部の顧問にならざるを得ない状況である。大学生や社会人の

方で中学校部活動指導方針に協力できる方を学校支援ボランティアとして登録し、市内中学校の部活動を支援していくべきではないか。

◆教育長 中学校の部活動支援については、現在は既存の制度を活用しているので学校支援ボランティアを新たに登録する予定は今のところない。

「地域振興」「過疎対策」としての

ギンナン生産今後のありかたについて

内田 大治 議員

に把握しているのか。

●内田 旧備中町では過疎と高齢化が進み、基幹産業である農業が衰退し、耕作放棄地が増え、そして耕地・林野の荒廃が増大してきた。そこで「地域振興」「過疎対策」としてギンナンの栽培を行政施策として展開してきた経緯がある。

植栽を平成10年度から実施し植栽面積は26ha・植栽本数は10,000本と日本一の作付面積となった。平成17年に初収穫があり、以降収穫量は増大し、平成20年度は5t生産しているが、販路が十分確保できていない事、また品質管理が不十分により価格が低迷している。市は、現在ギンナンの生産の現状と問題点をどのよう

◆市長 行政施策としてきたことは認識している。育てる取り組みは間違いでは無かったと思う。販路戦略が十分出来ていなかった。

後継者問題、あるいは生産・流通についてこれから考えていかなければならない。

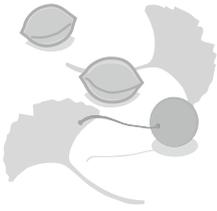
◆産業経済部長 旧備中町が、行政施策で行ってきた内容については認識している。現状を十分掌握し、販路を拡大していかなければならない。

●内田 生産組合と高梁市が協議して策定した経営改善計画は「岡山県及び高梁市の指導・援助のもとに行う」と明記している。市は今後、具体的に指導援助していくのか。

◆市長 これからの戦略としては組合員皆様

が売れるギンナン、つまり大粒・アオギンナン等の生産に取り組み栽培技術・選別技術の向上を図り、他にないギンナンとして付加価値を付けブランド力による売り込みをする事が必要になる。また、観光面と結び付ける事も皆さんと考えてみたい。

◆産業経済部長 ギンナンは大量に購入されないという観点から、付加価値を付ける対策、また市場関係者や販売関係者と収益向上、品質向上につながるよう協議し、JA等を通じて販路拡大するよう支援をしていきたい。



行財政改革の方向性とその成果について  
高倉小学校の跡地利用は？

宮田 好夫 議員

行財政改革について

●宮田 本市における行財政改革は平成18年3月に策定された大綱に基づき、総額37億5千3百万円を削減目標として進められている。

職員数は平成17年度の838人から平成21年度で697人と141人削減されているが、今年度末、金額

ペースでいくらか。

◆副市長 平成21年末での効果額は累計で27億8千万円の予定となっている。なお第一次行革の最終年度の平成22年度末では目標額を上回る約41億円の削減が見込まれる。

●宮田 今第2次行財政改革審議会が開かれ、合併特例処置が終了する平成27年度から平成32年度にかけ地方交付税が段階的に約22億円削減されるとある。

一方、本市では成羽病院改築や新庁舎など大型事業が計画されている中で、第2次行革の目標効果額はいくらか。

◆副市長 第2次行革の計画期間は平成22年度から5年間で約21億円の効果額を予定

している。

庁舎機能の充実について

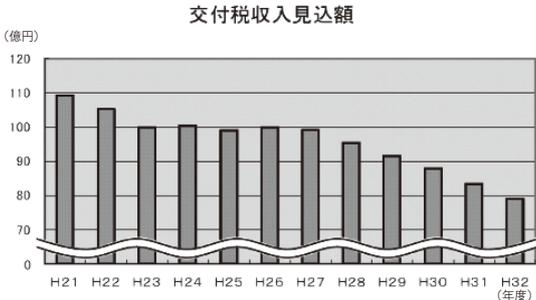
●宮田 現庁舎は老朽化が進むとともにバリアフリー化されておらず市民から新庁舎を求める声も多い。建設にむけた今後のスケジュールは。

◆総務部長 来年度に基本設計、市民アンケート、実施設計に向けた検討組織を立ち上げ、平成26年度に建設工事を完成させる予定である。

高倉小学校跡地利用について

●宮田 高倉小学校の廃校後の利用の方向が決まらない中で、管轄が教育委員会から管財係へ変更となるが、教育委員会として責任をもって管理し、跡地利用を考えてほしい。

◆教育長 来年度以降についても、教育委員会として地域と十分協議しながら進めていく。



## 高梁駅のバリアフリー化の進展は？ 早急な高梁駅周辺整備を望む

田中 広一 議員

高梁駅周辺開発について

●田中 駅のバリアフリー新法では、1日5、000人以上の乗降客と定めている。高梁駅の1日利用乗降客数は約4、000人で対象外になっている。当面の課題として利用促進の運動を展開するとしていたがどうか。

◆市長 職員の出張等にかかる利用促進を図ってきた。

●田中 利用促進の市民運動を展開する事はどうか。

◆市長 利用促進運動に取りみたい。

●田中 バリアフリーの整備に関して駅舎立体化の検討がされていると聞くがどうか。

◆市長 バリアフリーの要望は自立支援協議

会からも出ている。東西通路の活用と併せ駅舎機能についてまちづくり交付金事業として、平成22年度より取り組む。

●田中 駅前広場が鉄道用地であり、買い取りが約束されていると聞くがどうか。

◆市長 覚書については承知している。立体化構想を含め行革答申との関係もあり早急に方向性を示したい。駅周辺整備については、平成22年度から着手する。

市長の行政施策発信について

●田中 市広報「市長室からこんにちは」において、市長は市政やちまたの話題を知らせたいとされているが、

市民は公人としての市長の言に期待をしている。1月広報での、伯備線特急寝台列車サンライズ停車について市長の考えを問う。

◆市長 東京に朝一番早く着く利便性があり停車に向け関係機関に働きかけていく。

●田中 2月広報では伯備線にSLを走らせ高梁をPRしたいとあるが具体案を聞く。

◆市長 総社、高梁、新見で合併10周年事業に向けてSL運転そして定期運転を目指していく。

## 成羽病院建設事業費の圧縮を！ 新庁舎の位置は現在地で

小林 重樹 議員

成羽病院改築について

●小林 病院経営については、地方公営企業法の一部適用から全部適用とするとしているが、その時期はいつごろなのか。

また事業管理者はどのような人物を想定しているのか。

◆病院事務長 時期についてはまだ決定していない。

また事業管理者は、単に病院を経営するだけでなく、人脈を持ち医師確保の出来る人を考えている。

●小林 企業（病院）独自の給料表が設定可能となるが、民間病院並みになるのか。

◆病院事務長 公務員給料を基本にして、検討していきたい。

●小林 建設事業費と

新市庁舎について

●小林 新市庁舎の建設位置は、現在の本庁舎の場所と決定されているのか。

◆市長 本庁舎は5市町の合併協定で現在地となったが、新市庁舎の位置は現在地を含め、規模と併せてあらゆる可能性を考えている。年明けに設置する「新庁舎等建設検討協議会」で議論していただく。



備中高梁駅構内の陸橋

◆病院事務長 財源として国の医療施設耐震化臨時特例交付金2億7千万円が内定し、同病院の建設改良積立金及び、地方債を充てることを考えている。

教育問題について

●小林 特別支援を要する児童の支援について、本市の現況と今後の課題はどうなのか。

◆教育長 支援員の人数は昨年度8名を、本年度12名に増員していただいた。来年度は、ある程度の増員の方向でお願いしているところである。



## 吉備国際大学への3億円補助 事業内容と積算根拠の提示を求める

宮田 公人 議員

●宮田 9月議会において債務負担行為として予算計上された「市内私立学校学生支援事業」3億円のうち、吉備国際大学への広報費補助金4,000万円(単年度)について、具体的な事業実施内容と積算根拠の説明を求める。

◆副市長 事業内容については、オープンキャンパスの実施、それにかかる、印刷・製本・学校訪問・雑誌・新聞等への広告宣伝費と伺っている。

●宮田 伺っていると、言う答弁だが、市役所において、仮に4,000万円の事業実施を行うとして、口頭による事業説明のみで、あなたは予算付けを行うのか。

金の利用は考えていないということか。

◆副市長 地域再生基金と、まちづくり基金の充当も考えている。

●宮田 このような案件については、オープンな場で大学との協議を進める必要があると考える。そうした協議機関の設置についてどのように考えているのか。

◆副市長 今後、専門的分野での協議、検討が必要であると考えており、新しい協議会については今後設置していかうと考えている。

●宮田 いつ頃の設置を予定しているのか。

◆副市長 出来れば、年度内に開催したいと考えているが、委員の選考等がスムーズにいかば早期に開催したい。



## 高齢化社会における、安心・安全対策 市街地活性化対策について

大森 一生 議員

「安心・安全なまちづくり」について

●大森 本市は超高齢化社会を迎えており、高齢者のひとり暮らし世帯、空き家の急増が予想されるが、どのような対策を講じているのか。また、高齢者の安心・安全対策として、新たな交番や防犯カメラ(市内の要所)等の設置が必要ではないか。

◆副市長 集落活性化支援事業(モデル5地区を指定)、空き家バンクによる情報提供、市内70カ所であらゆる交流サロンを開催している。災害時の避難支援プラン等も検討している。県条例で交番の設置は難しいが、防犯カメラは今後の研究課題としていく。

市街地活性化対策の現

状と課題について

●大森 人口減少、少子・高齢化社会における市街地活性化対策の現状と課題について問う。

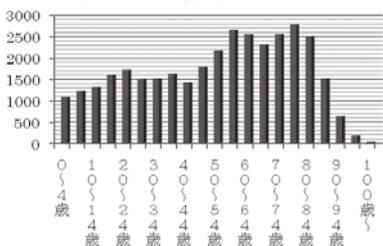
◆副市長 本市の中心市街地はもともと、徒歩や自転車でもどこでも行けるコンパクトなまちである。低炭素社会が叫ばれている昨今、その有利さを活かし、新総合計画の中でも取り組んでいきたい。

●大森 本市には、旧高梁の中心市街地だけでなく、旧4町の中心地がある。超高齢化社会を迎え急激な衰退、空洞化が進んでいる。また、新市庁舎、新中央図書館、成羽病院等の建設も予定されている。市長所信の中で地域の資源を見直し、市の

活性化につなげていきたいとある。今後計画されているハード事業を従来の固定観念にとらわれず、旧4町の施設を有効活用し、人、モノ、カネ、情報が動く仕組みを考え、市街地活性化対策を講じていくべきではないか。

◆副市長 各地域の活性化を考えていかねばならないが、行財政改革の答申の中でも提言されているが、中心に集中することは効率的な運営につながり、それが行政の責任につながる。今後の研究課題にしたい。

高梁市年齢階層別人口



(右図はH21年11月30日現在の市民課の資料より筆者作成)

## 産・学・官の連携による新農業ブランド開発を 吉備国際大学ポラバイトの活用は？

倉野 嗣雄 議員

農業振興について

●倉野 本市の農業振興に、産学官連携によるブランド開発はできないか？

◆産業経済部長 現在本市では、高梁商工会議所が農林水産省の補助を受けて、食品加工についてブランド開発事業を実施している。対象農業者は1人であるが高梁学園・商工会



議所・高梁市で進めている。

●倉野 JAや、農業者が参加1人でありブランド開発者が加わっていないのはどうしてか。

◆産業経済部長 平成17年に商工会議所、高梁学園、高梁市において、町づくり、福祉、産業の分野で関連協定ができています。今後は農業分野もいれていきたい。

●倉野 農産品のブランド開発が本市の農業には重要と考えられるかどうか。

◆産業経済部長 本市にはブドウ・トマトが所得の上がる品目と考えている。他には地形や生

産者の年齢に合った軽量野菜を多く作って販売所などへ出荷してほしい。

●倉野 吉備国際大学、農業ポラバイトの利用はどのようになっているか。

◆総務部長 現在は少ないが、今後JA、大学、市で進めていく考えである。

●倉野 本市の農業の潜在能力を引き出すためには、リーダーが必要と考えるかどうか。

◆市長 同感である。今後は職員も専門分野を持たせる事も必要と考えている。

空き家対策について

●倉野 数年間空き家となっている家について固定資産税を上げることが出来ないか。

◆総務部長 税の公平性という観点から考えていない。空き家対策については、まずは地域で考えてほしい。

## 地球温暖化防止のため新エネルギー課の設置を インフルエンザの発生状況と学童の健康対策は

大月 健一 議員

地球温暖化防止対策について

●大月 低炭素社会実現に向け太陽光・小型風力発電を個人住宅に拡大すべきと考えるが、現在太陽光発電の設置数はいくらあるのか。

また、太陽光発電を電源とし、「LED電球」で街路灯を考えたらどうか。本市の学校の電球を「LED」に取り替えCO<sub>2</sub>の削減が出来るか。

◆市民生活部長 補助で設置された箇所は、約115戸である。太陽光発電での街路灯設置については、1基が5万円程度かかり無理かと思う。学校の電球については追々に取り替える。

●大月 地球温暖化防止のため、新エネルギー課を設置し、補助

ている。運動については、出来ることから教員と相談し行いたい。病気中の休みについては、各学習の時間調整をしながら冬休みには支障の無いようにしたい。必修科目の武道については、本市の7中学校では柔道・剣道・相撲のいずれかを平成24年度までに体育館を利用して取り入れるように考えている。

金拡大、工事相談、訪問販売等の悪質防止対策に努めてはどうか。

◆市民生活部長 新しい課の設置は考えていない。市民環境課で対応しているので相談してほしい。補助金は、4KWまでが70万円でこれ以上は考えていない。

学校教育について

●大月 本市のインフルエンザ発生状況はどのようにになっているか。

また、学童の運動不足が心配されるが、対策はあるのか。学校閉鎖・学級閉鎖の影響が冬休みに出る事は無いのか。

中学生への武道必修科目が設けられていると聞いているが考え方を問う。

◆教育長 本市の学童では554名が発病し

高梁城南高校川上校地について

●大月 あと3ヶ月で閉舎される高梁城南高校川上校地について(52名の生徒が巣立つ寂しさが何とも言えない。)岡山県から跡地利用の依頼があれば受けられるか。

◆市長 岡山県教育長と8月に話をした経過がある。せっかくある農業高校なので県からの依頼があれば高梁市の農業振興のために活用させて頂きたい。

# 市の発注は地元業者優先で 家族的経営中心の地元業者を守れ

三上 孝子 議員

●三上 市外業者と市内業者の価格競争原理に基づく発注は、高梁市の活性化に逆行するもので、市内業者の経営を守る立場でさらに改善が必要ではないか。

◆産業経済部長 出来る限り市内業者に発注するよう努めたい。

●三上 官公需の発注で、備品・消耗品・印刷物等の実態はどうか。



印刷物の発注市外

◆産業経済部長 特殊なものを除き最大限市内を優先した発注を行っている。

●三上 例えば印刷物で主なものをあげても市外への発注が多いように思うが「どうしたら市内業者が受けられ

るのか」育成」という視点が必要ではないか。少し高くても市内業者への発注が地域経済の発展・活性化をもたらすと思うがどうか。

◆市長 当然市内業者がうるおうよう、どのように工夫することがあるか双方で話し合い、発注方法に改善があればやっていきたい。一方経済活動であり競争原理が働く

こともある。●三上 市内業者とはの基準「高梁市内に本社、支社等を置き、一定の職員を常駐させ日常的、継続的に業務を行い、高梁市に納税の義務を負っている業

者」とすることが市民としては公平・公正を期すことと思うがどうか。市内に住み、家庭を持ち子育てをし、納税を負っているのです。

◆産業経済部長 市内に事務所を持ち、納税の義務を負い、本社からの委任事務を受け常時営業を行っていることをもって市内業者としている。

●三上 市内に事務所を置いてある業者の実態把握はしているのか、3月の更新時に厳密な実態把握をするように求める。

◆産業経済部長 現在常時常駐を原則としていないので調査等は実施していない。

●三上 請負業者が下請け発注をする場合、詳細で公正な契約を結び「市内業者優先」で行うよう要請すること。

◆産業経済部長 市内業者に発注されるよう要請していきたい。

# 備中高梁元気プロジェクトの進捗状況は？ 歴史まちづくり法を活用した 町並み整備、紺屋川周辺桜並木の整備を

森田 伸一 議員

●森田 現在当市では、総務省から派遣されて活躍いただいている篠原アドバイザーを中心に「備中高梁元気プロジェクト事業推進協議会」を立ち上げられ、高梁市の観光実態また課題、問題点の掘り起こし作業中と思うが、現在の進捗状況と今後の進め方について問う。

◆副市長 7月15日に協議会を立ち上げ4部会で成羽地域・吹屋地域・宇治地域・高梁地域の観光振興に向けた方向付けを行っている。また地区座談会も実施している。本年度は課題の抽出作業・観光実態調査を行い、次年度で先導的プロジェクトの試行を行う。この事業は3年計画としてい



るが篠原アドバイザーには次年度以降も引き続きご指導いただくこととしている。

●森田 歴史まちづくり法の活用について、来年3月認定に向けて「歴史的風致維持向上計画」の策定作業と聞いているが、この計画にかかる重点区域はどのように考えているのか。武家屋敷館周辺の

空き地および県有地の確保についてこの事業の中で取り組めないのか。紺屋川周辺の桜並木が老木化しているが早急に更新するべきではないか。

◆副市長 現在、各課横断的な組織で「歴史的風致」の維持向上を目的とした10年計画を検討中である。重点区域については、備中松山城の城下町である高梁市中心部と国の伝建地区に指定されている吹屋地域の「歴史まちづくり法」の活用を考えている。また武家屋敷館周辺の民有地、県有地についてはこの事業補助内での取得は困難であるが、来年3月までに「歴史的風致維持向上計画」を策定し、国へ申請したい。また、紺屋川周辺の桜並木更新についても、「歴史的風致維持向上計画」が国に認定されればこの事業の中で計画したい。